

第1回 建築設計競技

テーマ 「3世代が住む狭小住宅」

狭小 (極小) 住宅とはなんだろうか。人が最低限生活するための空間を確保すればよいのだろうか。

かつて豊臣秀吉が「立って半畳、寝て一畳」といい、人体と空間の大きさについて述べている。また、第2次世界大戦後に池辺陽が工業化を目指し提案した「立体最小限住宅(1950年)」や日本の伝統と近代建築との融合を目指した清家清の「森邸(1951年)」から70年近く経とうとしている。この間、東孝光自邸(搭の家)、住吉の長屋(安藤忠雄)など、多くの建築家が新しい試みをしている。ここでもう一度、狭小空間での可能性を考えて欲しい。

一方、核家族化が進んで久しくなる。老人の一人暮らしが今も増え続けており、両親と同居する生活スタイルは、あまり見られなくなった。そのため老人の体調面から生活が難しくなり、介護施設に入居して人生の終焉を迎えるケースも少なくない。さらに、近年は共働きの親が増加しており、子供が学校から帰宅しても誰も家にいないなど、子供の見守りや教育において核家族のデメリットも多い。家族の生活スタイルを再考しなければならない時期にきている。

これらのことを踏襲し、それぞれの地域の特色を生かした、日本の近未来に向けた「3世代が住む狭小住宅」を提案して欲しい。
(審査委員長：和田 浩一)

■ 提出図面

A1横 1枚 版 (25MB以下)
各図面の縮尺は自由
作品提出期限：2018年6月20日
(PDFの電子投稿)

■ WEBエントリー 2018年3月1日～5月31日

エントリー先：<http://www.jissen.or.jp/>
エントリー時に必要な情報
応募者(グループで応募する場合は代表者)の住所、氏名(ふりがな)、年令、電話番号、学校(施設)名、連絡が取れるメールアドレス、使用ソフト(2等のメガソフト株式会社賞の要件となるため)
※WEBエントリー完了後、登録完了のメールが送られます

■ 作品条件

- 敷地面積：6m × 1.6m
- 高さ：1.2m以下
- 用途地域や建ぺい率・容積率、斜線制限などの建築法規は、考慮しなくてもよい
- 敷地のロケーションは、具体的にイメージできる場所を自由に設定できる
- 建物の構造は、自由

■ 表彰

- 1等 実践教育建築デザイン賞
副賞 「3Dマイホームデザイナー PRO9」1本、総合資格学院書籍
有名画家のレプリカおよび建築家の作品集、1万円QUOカード
- 2等 (協賛企業賞) 「順序不同」
- メガソフト株式会社賞 副賞 「3Dマイホームデザイナー PRO9」1本
(マイホームデザイナー利用による作品)
 - 株式会社 総合資格賞 副賞 総合資格学院書籍
 - 株式会社 松下産業賞 副賞 書籍

主催 (一社)実践教育訓練研究協会

協賛 (順序不同)
メガソフト株式会社
(〒530-0015 大阪府大阪市北区中崎西2-4-12 梅田センタービル11階)
株式会社 総合資格
(〒163-0557 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル22階)
株式会社 松下産業
(〒113-0033 東京都文京区本郷1-34-4)



■ 作品提出先

- 1 jissen.compe@gmail.com (25MB以下)
- 2 無料大容量ファイル転送サービスを使って上記アドレスに送付することも可能

■ 入賞者プレゼンテーション 8月24日(金)午後、あるいは8月25日(土)午前

各入賞者は、関東職業能力開発大学校で行われる2018実践教育研究発表会(以下、発表会)において表彰し、発表会でプレゼンテーションをしていただきます(入賞作品ごとに1名の旅費を支給)。また、優秀作品10点を選抜し、発表会において展示します

● 2018実践教育研究発表会開催概要

- 会期：2018年8月24日(金)～25日(土)
会場：関東職業能力開発大学校
栃木県小山市横倉三竹612-1

■ 応募資格 (2018年4月1日現在)

- 一般大学・大学院学生
 - 高等専門学校学生
 - 職業能力開発関係施設で学ぶ学生・受講生
 - 専門学校学生
 - 工業高校生徒
- (※1グループ 4人以内)

■ 審査

審査は、審査委員による作品評価を行い、公開審査は行いません

■ 結果発表 2018年7月初旬

(一社)実践教育訓練研究協会のHPで発表すると同時に、入賞者にはメールにてお知らせします

■ 審査委員

- 審査委員長 職業能力開発総合大学校 能力開発院 教授 和田 浩一
審査委員 東北職業能力開発大学校 特任教授・実践教育訓練研究協会 建築・デザイン系部会長 星野 政博
山形県立産業技術短期大学校 建築環境システム科 教授 江川 嘉幸
メガソフト株式会社 アカウントマネージャー 吾妻 恭臣
株式会社 総合資格 執行役員/営業部 部長 安島 才雄
株式会社 松下産業 代表取締役社長 松下 和正

■ 質疑応答

課題に関する質疑応答は行いません。本要項に定める内容以外の問題は応募者の自由とします

■ 注意事項

- 応募作品は未発表のものに限ります
- 同一作品の他設計競技との二重応募は、受け付けません
- 事前にWEBエントリーフォームから登録を行ってください
- 応募作品の一部あるいは全部が、他者の著作権を侵害してはなりません。また、雑誌や書籍、ウェブサイトなどの著作物を許可なく使用してはなりません
- 著作権侵害のおそれがある場合は主催者の判断により入賞を取り消すことがあります
- 応募作品(PDF)は返却しません
- 本設計競技の応募作品に関する著作権は応募者に帰属します。応募作品の(一社)実践教育研究会HPやジャーナル掲載、協賛企業HPへのリンクなど、発表に関わる権利は主催者及び協賛企業が保有します
- 本設計競技において取得した個人情報、主催者と協賛者が共有します。本設計競技の運営以外には使用いたしません。また、第三者に譲渡や転売はいたしません

■ 建築デザイン設計競技事務局

- (一社)実践教育訓練研究協会
〒185-0021 東京都国分寺市南町2-18-36-203
TEL 042-300-1651 FAX 042-300-1652
<http://www.jissen.or.jp>

